

「無事故・無災害を目指せ」 全国初の再教育講習会を開催

ACTIVE KUMIAI



講師の三橋春夫労働災害防止対策委員長

山梨県山砕石事業協同組合(千野進理理事長)は、8月5日組合会館研修室において、「採石のための掘削作業主任者(技能講習修了者)再教育講習会」を全国に先がけて実施した。この講習会は採石現場における事故や災害を未然に防ぐため、現場の中心となる掘削作業主任者に対し、安全管理

の重要性の再認識と安全管理対策の充実を目的として実施したもので、組合員各社より30余名が参加、一般社団法人日本砕石協会関東地方本部 労働災害防止対策特別委員会の三橋春夫委員長を講師として招き行われた。

三橋氏は「砕石業は現場状況が刻々と変わる自然相手の資源産業であり、一度災害が発生すると重大になる特異性を持っている。現場従事者の『命』を預かっている職場長(掘削作業主任者)としての立場をあらためて認識して欲しい」と述べ、労働安全衛生法をはじめとして、実際に発生した事故を事例とした技術面について講習した。また、全国で初めての開催になったことから、出席した(一社)日本砕石協会の井上勝次会長からも、安全最優先での事業推進について強く依頼があった。

千野理事長は「我々中小企業者にとって『人材』は非常に貴重な経営資源であり、現場従事者の事故がないように業務に取り組むことで砕石業は事業として成り立つ。この講習会で学んだことを現場での的確な指揮・指導に活かし、より安全確保に努めて欲しい」と語っている。

組合では、新たな技能資格取得も推進しており、10月末に講習会を実施する予定。



各社より職場長(掘削作業主任者)が参加